

根を養えば 樹はおのずから育つ

留学生別科長 横山 博信

朝日大学留学生別科の目的は、「朝日大学や他の日本の大学・大学院に入学を希望する外国人に対して、日本の大学教育を受けるために必要な日本語能力を身に付けさせること」である。

私たちは今年も、留学生別科を修了し朝日大学その他に進学する留学生を多く送り出した。2019年度の秋修了9名、同じく春修了31名の計40名である。彼らは、希望に満ちた旅立ちをしてくれただろうか。

根を養えば 樹はおのずから育つ

という東井義男先生とういの言葉がある。

私たちは、留学生一人ひとりの未来を支える **根を養う** 手助けを少しでもできたかと振り返ってしまう。しかし、別れの時に振り返っても意味はない。毎日の積み重ね、一瞬のやりとりの積み重ねの上に修了という別れの時がある。

留学生一人ひとりにとって **根** は、日本語の習得であろう。日本語という **根** を獲得することで、彼らは日本社会の中で大きな **樹** を育てようと願っているのである。私たちは、彼らに確かな **根** を形作る仕事に携わっている。

下農は雑草を作り 中農は作物を作り 上農は土を作る 上々農は人を作る

という農業に関わる言葉も有名である。私たちの仕事は、日本語教育という畑で希望に燃える若者たちを育てていると考えたい。そのためには、自分自身の力を磨き続ける必要がある。そのための研究であり、研修である。

2019年度も、朝日大学留学生別科紀要第17巻を出すことができた。お互いの研究・実践に学びながら、指導力・教育力を身に付けたいものである。